



がんばって
いきます!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



中川小エコクラブ (松阪市)

・会員数88名 ・サポーター数3名 ・クラブの構成 小学校(6年生) ・代表サポーターの山田先生に聞きました

いつどのようにできたのですか?

昨年度「環境のことを勉強しよう」と5年生の子どもたち88名が中心となってはじめました。全校で活動することもあります。昨年度は学校近くの川の生き物を調査して川のきれいさを測り、きれいにしていくよう家の人や地域の人に呼びかけをしました。

1年間、環境日記を付けて、気がついたこと、考えたことをクラスで交流しました。グループに分かれてペットボトルのキャップ、プルタブを集めて送ったり、エコ工作をしたり、ごみのポイ捨てをしないようによびかける看板を学校裏の中村川堤防に立てたりしました。



野菜は葉っぱも利用して、すてるものを少なくします。

どのような活動をしていますか?

児童会の活動で、毎年6月に、中村川の堤防のごみ拾いをします。全校児童が縦割り班ごとにゴミを拾い、それを分別することで地域の環境を意識したりきれいにしようという気持ちを高めます。また、ごみの分別や、温暖化によるあざらしの危機についても学びました。6月の環境集会では、全校の各クラスが環境について学んだこと、実行したことを報告し合います。

活動を中心となって始めた5年生が今年は6年生になり、電池を通して環境を考えました。エネルギーの危機、太陽電池、リサイクル電池の有効性等を実験しながら実感していきました。

家庭科の時間には、エコッキングを心がけます。材料を無駄にしないために、分量を緻密に計算する、皮のむき方を工夫

する、調理方法を工夫してエネルギーを節約する、水や洗剤を節約して使う、ごみの分別、等をがんばりました。

リサイクル手芸もしました。鉄のハンガーを利用したティッシュ・スポンジのホルダー、ペットボトルを利用したコップやCDのラック、古着からクッションカバー等、生活に役立つ物を作りました。

どのようなことを子どもに伝えたいですか?

環境に興味を持ち、身の回りをまず見てみることで、そしてその中で問題を見つけたら、何か自分のできることがないかを考えてみることの大切さを伝えたいです。自分一人で生きているのではなく、すべてのものがつながり合って生きていること、バランスを保っていくことが大切なこと、そのバランスが崩れることが環境破壊につながっていくので、自分の行動1つ1つに責任を持つこと。そして、自然や、環境の恵みをもって生かされていること、そのことへの感謝を忘れないようにしてほしいと思います。



こども エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中での活動に自由に取り組みます。

仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。

●入会費・登録費無料 ●お問い合わせは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」
<http://www.ecoclub.go.jp>